

● 3 子どもが健やかに成長できる教育環境づくり

事業名	事業内容	今後の方向性	担当課	評価		事業実績 (実施した事業等を具体的に記載してください。)	【アウトカム評価視点】 市民等からの意見	改善策	事業内容及び方向性の見直し(変更)について		
				H27	H28				有無	変更内容	
(1) 子どもの人権の擁護	50 子どもの権利条約・児童憲章の周知・啓発	児童の個性と権利を尊重するという考え方を社会に普及、定着させるため、児童の権利に関する理念の普及、啓発に努めます。 ・パンフレットの発行	引き続き、所管の刊行物に記事を掲載し、子どもの権利条約や児童憲章の理念の普及に努めます。	子ども家庭課	-	A	子どもの権利に関するポスター等の周知・啓発に努めた。	-	-	無	
			人権週間等で意識を高めるだけでなく、子どもの権利や人権意識の定着のため今後も周知・啓発に努めます。	指導課	-	A	人権週間やポスター・標語への取組を通して周知・啓発に努めた。	-	-	無	
			児童の個性と権利を尊重するという考え方を普及、定着させるため、今後も周知、啓発に努めます。	障害者支援課	-	A	障害者支援課窓口及び障害児等の相談支援施設において、児童の個性と能力に応じた支援に務めた。	-	-	無	
	51 指導者の育成	子どもの権利の尊重の理念を定着するため、指導者の研修・研究会を通じて指導者を育成します。	人権に関する研修を更に進めるため、また、教職員・保護者等の人権意識の高揚を図るためにも、指導者の育成に積極的に努めます。	指導課	-	A	教職員の学校人権研修会への参加を通して、人権意識の高揚を図った。	-	-	無	
★ 相談・カウンセリング	児童・生徒・保護者がいろいろな問題について気軽に相談したり、カウンセリングが受けられるよう、相談事業の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化します。 ・スクールカウンセラーの配置 ・家庭児童相談 ・父子・母子家庭相談 ・不登校児童・生徒への学習支援(教育支援センターフレンドステーション) ・いじめホットライン	引き続き、関係機関と連携を図りながら相談者の不安や悩みの解消に努めます。	引き続き、関係機関と連携を図りながら相談者の不安や悩みの解消に努めます。	子ども家庭課	A	A	家庭児童相談室では、平成27年度2,881件、平成28年度2,910件の相談に応じ、関係機関との連携を図った。	学校のスクールカウンセラーには大変お世話になりました。ただし、回数が少ないので増やしてほしい。	-	無	
		今後も継続して支援・相談体制の充実を図ります。	今後も継続して支援・相談体制の充実を図ります。	指導課	A	A	「流山子ども専用いじめホットライン」カードを市内全児童生徒に配布し、H28年度は19件の相談があった。	不登校の子の親も不安を抱えていて、サポートしてくれるところもあまりないので、孤立しやすい。フレンドステーションにも通えない親へのサポートもあると良い。	支援・相談体制の充実を努めます。	無	
		「青少年相談」の充実を図ります。	「青少年相談」の充実を図ります。	生涯学習課	A	A	児童・生徒・保護者のいろいろな問題について、気軽に相談できるようにするとともに、関係機関との連携を図ります。		「青少年相談」の充実を努めます。	無	
(2) 親の育成	53 小・中学生職場体験学習	「職場体験学習」の体験先として、乳幼児と小・中学生がふれあう機会を設けます。 ・地域の保育所等での受け入れ依頼	児童生徒の体験先として、今後も継続して受け入れを依頼していきます。	指導課	-	A	職場体験学習の体験先として受け入れていただき、平成28年度は、幼稚園15、保育園14、保育所4、合計33カ所において、乳幼児と小・中学生がふれあう機会となった。	-	-	無	
新規	54 保育士研修	保育に関する新しい課題に応じた保育内容や保育手法に関する研修や勉強会を実施します。	研修等を活用し、今後も保育士の質の向上に努めます。	保育課	-	B	県及び関係機関が実施する各種研修に参加し、保育士の資質向上に努めた。また、公立保育所においては、定例で開催される所長会議又は副所長会議において保育に関する研究を行い、さらに各保育所においても、ミーティングにおいて実施した。	-	引き続き、県及び関係機関が実施する各種研修に参加し、保育士の資質向上に努める。また、公立保育所においては、定例で開催される所長会議又は副所長会議において保育に関する研究を行い、さらに各保育所においても、ミーティングにおいて実施していく。	無	
	55 ★ 幼児教育に関する研究・研修	地域で保育や子育ての支援活動に関心を持っている方が、活動するための十分な知識や技術を修得していただくために、研修を実施します。	地域での担い手を確保するために、今後も研修を実施します。	子ども家庭課	-	-		-	-		
	55 ★ 幼児教育に関する研究・研修	幼児教育の目的に応じた適切な指導及び幼児期から心の教育が行われるよう、その研究・研修活動の支援の一層の充実を図ります。	質の高い幼児教育が望まれているため、幼児教育の目的に応じた適切な指導が行われるよう、その研究・研修活動の支援の一層の充実を図ります。	指導課	A	A	H28年度「保育研究会」では51名、年間3回行った幼保小関連教育研究会では164名の参加があり幼児教育の研究・研修活動の充実が図れた。	-	-	無	
	56 心の教育	生命を大切に、他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心を育てる教育の充実を進めます。	子どもの豊かな心を育む上で道徳の授業はその要として位置付けられ、道徳の教科化も進んでいます。その中で、教員の授業力の向上は重要課題であり、より充実した研修にしていきます。	指導課	-	A	道徳の教科化に向け、教員の授業力の向上を図るため研修会を行った。	-	-	無	
	57 環境教育	市内各校に学校ビオトープを作り、社会・理科・総合的な学習の時間などの学習と関連させながら環境教育の充実を図ります。	身近な自然のビオトープを通して学ぶ環境教育はとても大切です。今後、ビオトープの維持管理について学校間の情報交換に努めます。	指導課	-	A	各学校において各教科・総合的な学習の時間等を通じ、児童生徒への環境問題への関心を高めた。	-	-	無	
	58 国際社会への対応	市独自に小学校英語活動指導員・中学校ALTを導入し、国際理解教育の充実を図ります。	グローバル化に対応した英語教育を進めるために、流山市独自のプログラムを作成し、平成26年度より小学校で実施しています。その支援として小学校英語指導員の存在は必要不可欠です。また、外国籍の児童生徒が増加傾向にあります。日本語での日常会話が難しい児童生徒への日本語指導を今後も継続して実施します。	指導課	-	A	全小学校で市独自教材「流山市英語プログラム」を実施し、英語活動指導員を配置した。ALTは、H27に1名、H28に2名増員しグローバル化に対応した英語教育を推進した。日本語での日常会話が難しい児童生徒への日本語指導の充実を図った。	-	-	無	
59 情報化社会への対応	各教室でインターネット等が利用できるよう、校内LANの整備を進めるとともに、ICTを活用した施策の充実を図ります。	今後予想されるICTの進展に対応するため、新しい機器の調査研究に努め、更なる環境の充実を図ります。また同時にネットモラルに係わる指導も適切に行います。	指導課	-	A	ICT環境の充実を図った。情報モラル・ネット安全研修会を行った。	-	-	無		

● 3 子どもが健やかに成長できる教育環境づくり

	事業名	事業内容	今後の方向性	担当課	評価		事業実績 (実施した事業等を具体的に記載してください。)	【アウトカム評価視点】 市民等からの意見	改善策	事業内容及び方向性を見直し(変更)について		
					H27	H28				有無	変更内容	
(3) 教育環境の充実	60	特別支援教育	障害のある児童・生徒一人ひとりの個性や能力を一層伸ばせるよう、交流教育を積極的に進めるとともに、障害の程度に応じた教育環境の充実に努めます。また、各学校に特別支援教室を設置し、個別指導の充実を図るとともに、特別支援学校や福祉施設との交流を拡大します。	指導課	-	A	一人ひとりの個性や能力を伸ばせるよう適切な学びの場の選択のための就学相談を行った。特別支援学校・通常学級との交流を進めた。	市内に特別支援学校を整備してほしい。	関係機関と連携し、障害の程度や本人・保護者の願いに沿った就学相談の充実に努めます。	無		
	61	世代間交流	子どもたちと高齢者の交流を図るため、保育所での運動会、児童館・児童センターでの伝承遊びなどの各種行事を実施し、また、地区社会福祉協議会等民間活力との連携により、高齢者と子どもたちとの交流の場の拡大を図ります。	高齢者生きがい推進課	-	A	小中学校との交流会等を通じて、地域の子どものたちとの親睦を深めた。	-	-	無		
			核家族化が進む中、世代間交流及び地域交流を行うことにより、世代間の隔たりをなくし、子育ての良き理解者を増やすことに努めます。	保育課	-	A	運動会等の行事に高齢者に積極的に参加をしてもらい、世代間の交流が図れた。	-	-	無		
	62	体験学習の推進	福祉や環境問題などについて、実際の体験を通じて学習するため、ボランティア活動や野外活動等を実施します。また、市民参画による企画運営を促進します。 ・博物館子ども教室 ・チャレンジキャンプ ・本物体験学習 ・親子体験講座	今後でもできる限り、数多くの体験学習の場を設定し、児童生徒の感性を磨き、情操面を養うことに努めます。	指導課	-	A	福祉や環境問題、自然体験等多くの体験学習の場を設定した。	-	-	無	
			高校や大学、NPO法人など地域の教育資源を活かし、親子で、家族で、達成感が得られるような体験学習の場の創出に努めます。	公民館	-	A	夏休みに体験教室を平成27年度、平成28年度ともに3回実施。	-	-	無		
			今後も「見る博物館から参加する博物館」をコンセプトとし、企画展や子ども教室等の学習内容について検討を行い、事業の推進に努めます。	図書・博物館	A	A	毎月1回、夏休み期間中には複数回、歴史、自然に関する体験講座を開催した。	身近な場所で、セミの羽化を観察できる場所があるとは知らず、良い体験ができた。	博物館だけでなく、市内各施設を利用し、体験活動の場を増やす。	無		
新規	絵本のふれあい体験の支援	乳幼児や保護者、子育てにかかわる方が、絵本を通してふれあう場をつくることで、これからの子育てに役立つように支援します。 ・おはなし しゅっぱつしんごう!	子育て関連施設へ乳幼児向けブックセットを順次設置します。また、おすすめ本リストの配付や乳幼児向けおはなし会も実施し、絵本を通してふれあひの支援に努めます。	図書・博物館	-	-	-	-	-			
63	文化・芸術活動の支援	子どもたちの文化・芸術活動を活性化するため、活動成果を発表する場の提供に努めます。また、NPO団体等との協働も含め、幅広い事業展開を図ります。 ・ジュニアコンサート ・人形劇 ・各種講座、大会、鑑賞会 ・青少年自主学習グループ発表会	地元の文化諸団体の発表の場として、さらに、全国や世界で活躍されているアーティストを招へいし、芸術文化に触れることができる場として、ホールの活性化に努めます。	公民館	-	A	平成27年度は、子育てコンサート年2回、お笑い大行進、ジャズオーケストラ、ろこどる、人権ミュージカル落語を実施した。 平成28年度は、子育てコンサート年2回、青少年ふれあい運動「全体のつどい」、ジャズコンサート、宝くじふるさとワクワク劇場を実施した。	-	-	無		
			伝統文化の継承も含め、子どもの文化・芸術活動の機会と場を拡充します。	生涯学習課	-	A	少年少女俳句大会、学校サロンコンサートを実施した。	-	出場者及び出場校が偏らないようにしたい。	無		
			今後も乳幼児とその保護者や児童を対象とした行事についてのニーズを捉え、内容をより充実させながら継続して子ども教室等の事業を実施します。	図書・博物館	A	A	「おはなし会」(毎週水・土曜)をはじめ、「人形劇」(年4回)や「子ども科学教室」、体験講座「筆文字で遊ぼう」など、多岐にわたる事業を実施した。	おはなし会…絵本の読み聞かせを親子で楽しむ時間に行っている。 子ども教室…夏休みの自由研究に役立ってよかった。	子どもたちのさまざまな興味を育てられるよう、幅広いジャンルで事業を実施する。	無		
64	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室	子どもの健康の維持・増進を図るため、各種の大会や教室を開催します。 ・子ども軽スポーツ行事 ・コミュニティスポーツフェスティバル ・コミュニティスポーツのつどい	子どもの仲間作りや体力増進を図るために、各種スポーツ活動(大会)、レクリエーション活動等の実施に努めます。	子ども家庭課	-	A	子どもの仲間作りや体力増進を図るために、各種イベントを実施した。	-	-	無		
			指導者の講習会については、内容を充実させながら継続していきます。	スポーツ振興課	-	A	少年スポーツ指導者講習会を年1回実施し、安全で効果的な少年スポーツ指導の普及に努めました。	-	-	無		
65	学童クラブと保育所の交流	学童クラブと保育所の交流を活発にし、保育内容を共通理解した上での交流を図ります。	保育所から小学校進学に伴う学童クラブへの円滑な移行を図るため、必要な情報交換を行います。	保育課	-	D	保育所と学童クラブとの間で児童の情報の共有は行ってない。	-	今後も情報の共有は考えていないが、個別に必要であれば行う。	無		
				教育総務課	-	B	近隣の保育所の外遊びのために、子育て支援センター及び学童クラブの園庭を開放した。	-	交流の機会を増やし、必要な情報交換に努める。	無		
66	私立幼稚園への支援	私立幼稚園との情報共有や市民への園情報の提供などを行い、私立幼稚園を支援し、園との連携を深めます。	預かり保育に対する支援を検討します。また、児童虐待や子どもに関わる事件、事故等の諸問題に対応するため、私立幼稚園と関係機関との連携を図るための環境整備に努めます。	子ども家庭課	-	B	預かり保育の状況を把握したが、支援を検討には至らなかった。児童虐待等に対応するために、私立幼稚園との連携を図った。	・保育所だけでなく、幼稚園も増やしてほしい。	近隣の状況等を把握しながら、私立幼稚園の預かり保育への支援を検討していく。	無		
			今後も引き続き流山私立幼稚園協会との連携を深めていきます。	保育課	-	B	私立幼稚園協会からの要望により、補助金の支給方法を変更した。	-	引き続き、私立幼稚園協会との連携をし、支援をしていく。	無		
(4) 家庭上の教育力	★ 67	家庭教育講座	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を開催します。さらに、企画運営への市民の参加を推進します。 ・乳幼児期の家庭教育講座	公民館	A	A	家庭教育講座を平成27年度は20回、平成28年度は23回実施した。	-	-	無		
	68	子育てサロン	乳幼児期の子どもの持つ方の交流の場を提供します。保育ボランティア、地域ボランティア等の協力により展開します。 ・双子や三つ子のために「さくらんぼくらぶ」を実施 ・子育てサロンの実施	公民館	-	A	年6回の子育てママのセミナー、通年の中央ひだまりサロン・南流山ひだまりサロン、通年でさくらんぼくらぶを実施した。	・ひだまりサロンやさくらんぼルームを利用していますが、無料で参加できて良かった。	これまで以上に周知活動を行って、利用者を増やしていく。	無		

● 3 子どもが健やかに成長できる教育環境づくり

事業名	事業内容	今後の方向性	担当課	評価		事業実績 (実施した事業等を具体的に記載してください。)	【アウトカム評価視点】 市民等からの意見	改善策	事業内容及び方向性の見直し(変更)について		
				H27	H28				有無	変更内容	
(5) 地域活動の充実	69 地域子ども活動の支援	各種団体等の活動を通して、子ども同士や子どもと地域の人々の交流が図れるよう、各種の活動に対し積極的な支援に努めます。 ・めざせ！遊びの達人 ・チャレンジキャンプ ・ゲーム大会 ・ものづくり体験	引き続き、青少年健全育成団体(青少年育成会議、青少年相談員連絡協議会、子ども会育成連絡協議会、ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会)が行う活動を支援します。	生涯学習課	-	A	工作・野外活動を行う「めざせ！遊びの達人」、自然体験・野外炊飯等を行う「チャレンジキャンプ」、ゲーム大会、たこ作り教室等を開催する青少年健全育成団体を支援し、地域青少年活動の支援に努めた。	-	-	無	
	70 ボランティアの育成・推進	地域社会において、児童健全育成の分野で活動するボランティアの養成・育成及び推進を図ります。	「地域子ども活動の支援」の中で対応します。	生涯学習課	-	A	青少年健全育成団体が行う活動を支援し、ジュニアリーダー・青少年相談員等児童健全育成の分野で活動するボランティアの育成を推進した。	-	-	無	
			今後も継続して幅広い世代との交流機会や体験できるイベントの提供に努めます。	コミュニティ課	-	A	市民活動団体や企業、大学等の幅広い世代が交流することができる、セントラルパークフェスタや市民まつりを開催しました。	多種多様な団体と交流することができ、今後の活動の幅が広がることへの期待が持てました。	多種多様な団体や幅広い世代との交流の場として引き続き、セントラルパークフェスタや市民まつりを開催していきます。	無	
	71 少年スポーツ団体の育成	子どものスポーツを通じた体力の向上と仲間作りのため、団体の育成を図ります。 ・少年野球連盟 ・少年サッカー連盟 ・スポーツ少年団	補助金による活動支援を通して少年スポーツ活動の促進を図ります。	スポーツ振興課	-	A	流山市少年サッカー連盟及び流山市少年野球連盟に補助金を支出し、少年スポーツ活動の振興を行いました。	-	-	無	
	72 児童館・児童センターの活用	地域社会の中で、インクルージョンの考え方を取り入れ、異年齢間の遊びや仲間作りのための居場所、遊び場の拠点としての活用に努めます。	地域における子育ての支援の拠点として、仲間作りや事業の充実に努めます。	子ども家庭課	-	A	児童館・児童センターを活用して、仲間作りを含めて、各種事業を実施した。	-	-	無	
73 学校体育施設の利用	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校施設の開放を進めていきます。	今後も事業の拡充に努めます。	スポーツ振興課	-	A	登録団体を対象に市内小中学校の開放を行いました。その中には多数の子どもが含まれていることから、子どもの地域活動の場として大きく貢献しています。	-	-	無		
(6) 子どもを取り巻く有害環境対策の推進	74 青少年相談	専門相談員による青少年とその家庭の相談業務を行います。また、関係機関との連携を進めます。	相談者の相談内容が複雑化、深刻化しつつある中で、関係機関との連携を十分にとり、相談者の立場に立って業務を進めます。	生涯学習課	-	A	青少年とその改訂の相談や関係機関との連携を図りました。	-	相談内容の複雑化、深刻化に伴い、関係各機関との連携強化を図ります。	無	
	75 街頭補導活動	街頭補導活動等による問題行動の早期発見及び未然防止に努めます。	青少年の取り巻く社会環境が複雑化している中で、地域の見守りを多くすることによって、地域で子ども達を育てる意識を高める為、引き続き街頭補導活動の充実に努めます。	生涯学習課	-	A	街頭補導活動等による問題行動の早期発見及び未然防止、不審者情報によるパトロールを実施しました。	-	青少年を取巻く社会環境の複雑化により、見守り活動を多くすることで、地域で子育てをする意識を高めるためにも、引き続き街頭補導活動の充実に努めます。	無	
	76 有害図書等の調査	コンビニエンスストア等の店舗で有害図書等の状況を確認します。その状況に応じて改善依頼を行うとともに、県条例に違反している場合は、関係機関に指導を依頼します。	青少年の取り巻く社会環境を良くするために、多くの市民とともに社会環境浄化活動を更に充実させます。	生涯学習課	-	A	コンビニエンスストア等の店舗で有害図書等の状況確認し、状況に応じて改善依頼を行いました。	-	青少年を取巻く社会環境を良くするために多くの市民とともに社会環境浄化活動をさらに充実させます。	無	
	77 青少年ふれあい運動	地域において、関係機関と連携を図り、青少年の健全育成と非行防止のため、広報・啓発、協力要請、情報収集、集会等の活動を通して、青少年社会環境浄化に取り組みます。	青少年ふれあい運動を更に充実させます。	生涯学習課	-	A	地域において関係機関と連携を図り、青少年の健全育成と非行防止のため、広報・啓発、協力要請、情報収集、集会等の活動を通して、青少年社会浄化に取り組みました。	-	青少年ふれあい運動をさらに充実させます。	無	
	78 青少年主張大会	青少年が日頃考えている抱負や意見、発表等を市民に訴えることで、理解と関心を深めます。	一般市民の参加を増やし、青少年に対する理解を深める機会を作ります。	生涯学習課	-	A	市内各中学校・高校から発表者を募集し、青少年が日頃考えていることを発表。多くの聴衆者に聞いてもらう機会を提供した。	-	一般の来場者の動員を増やすため、PR等を工夫します。	無	
79 非行防止活動等ネットワークづくり	学校警察連絡協議会において、小、中、高及び関係機関との連携、情報交換を行います。	学校警察連絡協議会を活用し、非行防止のための情報交換を行い、非行防止等のネットワークづくりを更に進めます。	生涯学習課	-	A	学校警察連絡協議会において、小、中、高及び関係機関との連携、情報交換を行うことができた。	-	学校警察連絡協議会を活用し、非行防止のための情報交換を行い、非行防止等のネットワークづくりを更に進めます。	無		
80 青少年育成会議への活動支援	青少年育成会議による様々な活動の支援に努めます。 ・青少年健全育成推進大会 ・体験教室	引き続き、青少年への理解と健全育成の機運を高めるため、青少年育成会議の活動を支援します。	生涯学習課	-	A	青少年育成功労者等の表彰、青少年を健全に育てる運動啓発標語・ポスター入選者の表彰を行う青少年健全育成推進大会や親子たこあげ大会等を開催する青少年育成会議の活動を支援し、青少年の健全育成を推進した。	-	-	無		